

「柳瀬川・金山調節池の自然再生」

～ 地域の取組み～

金山調節池ワークショップ

1. 金山調節池の概要

完成：平成6年3月、貯留量：46,000、湿地面積：13,300 m²

金山調節池への洪水流入

2. 多様な生態系

湿地性生態系の現況（立体的な植生、多様な群落、豊かな湧き水、水路で巡る水循環）

植生（ジョウロウスゲ、ミコシガヤ、カンエンカヤツリ、カンガレイ、フトイ、サンカクイ等）

昆虫（チョウトンボ、ハラビロトンボ、ギンヤンマ、マイコアカネ、オオアオイトトンボ等）

他の生物（アオダイショウ、アカガエル、ナガコガネグモ、オイカワ、エビ類・ヤゴ類等）

野鳥（ゴイギギ、オオヨシキリ、コチドリ、クイナ、タシギ、エナガ、アオゲラ、カワセミ等）

3. ワークショップの管理作業

早春の管理作業（枯れ草の刈取りと清掃、風塵の泥土を除去する作業）

初夏の管理作業（群落の管理・整頓、アオミドロの除去、帰化植物の除草）

夏の管理作業（繁茂植物の除去と清掃、水路の整正・泥の除去、木道際の除草、強勢種の抑制）

初冬の管理作業（繁茂植物の除去と清掃、水路の整正、落葉等の清掃・柳の剪定）

ワークショップの活動（自然観察会、探鳥会、生態系の調査、環境のピーアール）

4. 現場からのメッセージ

身近な自然に目を向ける

生きものを守り、人を育む

地域でのつながり

自然を大切にする

- 以上 -

柳瀬川・金山調節池の自然再生

地域の取り組み



1. 金山調節池の概要
2. 湿地性生態系の現況
3. ワークショップの管理作業
4. 現場からのメッセージ

東京の川を考える
シンポジウム2006

発表者 佐藤かつえ・小間靖子

1 金山調節池の概要



- 完成 : 平成6年3月
- 貯留量 : 46000
- 湿地面積 : 13300m²

1 金山調節池への洪水流入



の調



柳瀬川の洪水



2 湿地性生態系の現況



2 多様な生態系（植生）



ジョウロウスゲ



ミコシガヤ

カンエンカヤツリ

2 多様な生態系（植生）



カンガレイ



フトイ



サンカクイ



2 多様な生態系（植生）



コガマ



ヒメガマ



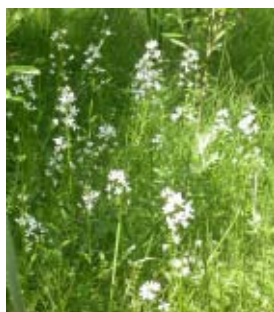
ガマ



2 多様な生態系（植生）



チゴザサ



ミズタガラシ



イボクサ



2 多様な生態系（植生）

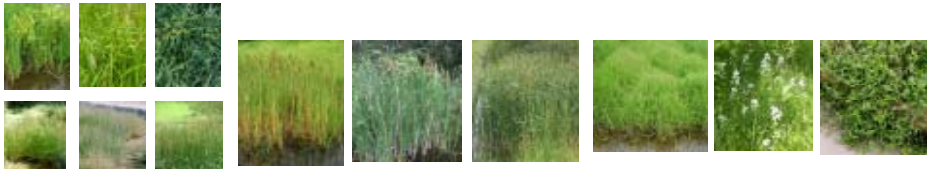


アゼナルコ



ミゾソバ

チョウジタデ



2 多様な生態系（昆虫）



チョウトンボ



ハラピロトンボ



ギンヤンマ

2 多様な生態系（昆虫）



マイコアカネ



オオアオイトトンボ



ハグロトンボ



2 多様な生態系（昆虫）



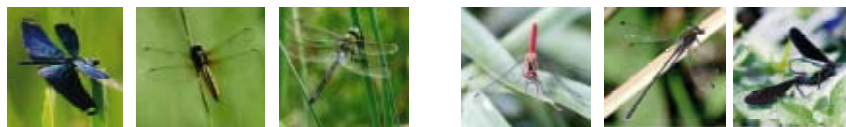
コムラサキ



ゴマダラチョウ



ルリタテハ

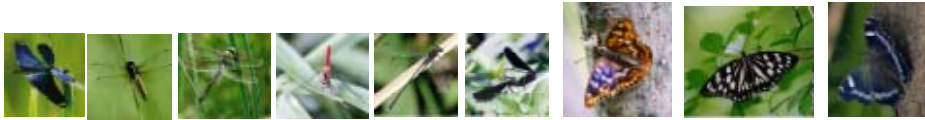


2 多様な生態系（昆虫）

ケラ

ゴマダラカミキリ

ノコギリクワガタ



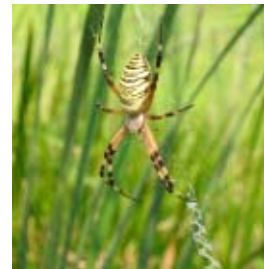
2 多様な生態系（他の生物）



アオダイショウ



アカガエル



ナガコガネグモ



オイカワ



底生動物

エビ類・ヤゴ等



2 多様な生態系（野鳥）



ゴイサギ



オオヨシキリ



コチドリ

2 多様な生態系（野鳥）



クイナ

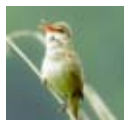


タシギ



エナガ

夏鳥



2 多様な生態系（野鳥）



アオゲラ



カワセミ



モズ

夏鳥



冬鳥



3 ワークショップの管理作業



ワークショップは楽しく自然と触れ合う



昼食の芋煮



休憩のひと時



学童もボランティア

3 早春の管理作業



枯れ草の刈取りと清掃



枯れ草の下に伸びる新芽



風塵の泥土を除去する作業



泥で淀む水路の整正・流れ回復

3 初夏の管理作業



群落の管理・整頓



アオミドロの除去



帰化植物の除草



オオカワヂシャの除去

3 夏の管理作業



繁茂植物の除去と清掃



水路の整正・泥の除去



木道際の除草



強勢種（ツルヨシ）の抑制

3 初冬の管理作業



繁茂植物の除去と清掃



水路の整正



落葉等の清掃・柳の剪定



作業後の清掃

3 ワークショップの活動



自然観察会



探鳥会

生態系の調査(リスト)



環境のピクニック

4 現場からのメッセージ

- 身近な自然に目を向ける

自然は絶えず変化している。



- 生きものを守り、人を育む

生きものに触れ合う。



4 現場からのメッセージ

- 地域でのつながり

共通の目的が人をつなぐ。



- 自然を大切に

保全は一人ひとりから

自然と人間の対話と交流



柳瀬川・金山調節池の自然再生

地域の取り組み



現場からのメッセージ

1. 身近な自然に目を向ける
2. 自然の動植物を守る
3. 地域のつながりを大切に

東京の川を考える

シンポジウム2006

発表者 佐藤かつえ・小間靖子